

# 校長室だより

学校教育目標「学びを生かす子供」

八代市立龍峯小学校

校長 村嶋 博史



R4,2,8

NO.34

## 「心のアンケート」結果から (パートⅡ)

12月に、いじめの未然防止と早期解消を目的に行った「心のアンケート」(県教育委員会調査)の結果報告の2回目です。

問1 「いじめられたことがあるか」(今年度に入ってから)

ある=6人、ない=64人

問2 「誰からいじめられたか」(複数回答可)

クラスの人=2人、上級生=1人、クラブチームの人=1人、他の学校の人=2人、その他=1人

問3 「どないじめを受けたか」(複数回答可)

言いがかり・おどし=1人、冷やかし・からかい=2人、殴られた・蹴られた=1人、用事を言いつけられる=1人、ネット上のいじめ=2人、その他=1人

問4 「いじめは続いていますか」

続いている=0人、続いていない=6人

問5 「相手が嫌と思うことを言ったりしたりしたことがあるか」

ある=26人、ない=44人

問6 「なぜ、相手が嫌と思うことを言ったりしたりしたか」(複数回答可)

イライラした=7人、相手に嫌なことを言われた・された=7人、遊び半分・面白かった=6人、自分がいじめられると思った=1人、けんかをしていた=6人、相手の気を引きたかった=1人、相手のためだと思った=1人

問7 「いじめを見たり、来たりしたことがありますか」

ある=3人、ない=67人

- 12月末現在では、「いじめは続いている」と回答した子供はいませんでした。今後もアンケート調査や教育相談を定期的実施したり、全職員による児童観察及び情報共有をしたりする中で、いじめの早期発見・早期解消に努めます。
- 問5で「相手に嫌なことを言ったりしたりした」と回答した子供は26人(37%)いましたが、問7で「いじめを見たり聞いたりしたことがある」と回答した子供は3人(4%)しかいませんでした。
- いじめを解消する要因は様々ありますが、その中で最も重要なことは「傍観者をつくらないこと」だと思っています。
- 人は、「見ているようでみていないもの」です。そのことを全校集会などで例を基に子供たちに知らせ、意識の高揚を図っています。
- 今後もいつもアンテナを高くし、いじめに早期に気づき、解消に乗り出す子供を一人でも多く育てることを目指し、道徳科をはじめ全教育活動の中で人権教育を行っていきます。
- ご家庭でもお子様の様子を見ていただき、気になることが度重なる際には、学校に早期にご相談ください。

## 「学習発表会」を行いました

1月28日(金)、学習発表会を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、リモートでの開催としました。子供たちは、これまでの学習の成果を家族に見てもらおうと一生懸命に頑張っている姿は、見ていて感動しました。また、練習過程での挑戦する姿も素晴らしかったです。この良さや伸びは学校でいっぱい褒めました。また、ご家庭でも褒めていただいたものと思います。

この学校行事が、子供たちの自己肯定感や自己有用感の高揚に繋がったものと思っています。



学校ホームページでは、最新の学校教育活動の様子がご覧になれますので、是非ご覧ください。インターネットで「龍峯小学校」とご検索ください。